

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小説『安曇野』を活用した地域ブランド発信事業
事業主体 (連絡先)	安曇野市役所 政策部政策経営課企画担当 (0263-71-2401)
事業区分	ソフト
事業タイプ	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
総事業費	1,971,200 円 (うち支援金: 1,576,000 円)

事業内容

小説『安曇野』(1974年完結)を地域ブランドとして発信するため、完結50周年の節目に説の復刊に取り組んだ。復刊にあたり、事業をPRするとともに地域と協力して取り組むためクラウドファンディング等を実施し、計201の個人・団体・企業から合計296万6000円の寄付をいただいた。小説は計1,100セット復刊し、そのうち400セットを地域の図書館や小中学校、高校等へ寄贈したほか、700セットは一般向けに販売した。3月2日(日)に復刊を祝うお披露目会・販売会を開催し、市内外の約300名が参加した。



【復刊した小説『安曇野』】

【目標・ねらい】

- ①シビック・プライドの醸成や移住・定住促進の機会創出
- ②地域ブランドに対する市民満足度の向上
- ③小説『安曇野』の認知度向上

事業効果

- ①クラウドファンディングを実施したところ、目標より多くの寄付が集まり、当初の800セットから1,100セットへ復刊数を増加することができた。
- ②クラウドファンディングについて、安曇野市内はもとより、長野県各地、また長野県外からも寄付をいただき、小説『安曇野』の認知度向上につながった。
- ③一般販売分700セットについて、販売開始1週間ほどで約半分が希望者に購入されるなど、小説『安曇野』を読みたいと思っている人々の手に届けることができた。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・クラウドファンディングで目標以上の額が集まり、当初予定より多く復刊することができた。
- ・完結50周年記念事業を開催し、の関心を高めることができた。

今後の取り組み

長く絶版となっていた小説『安曇野』を復刊し、学校や図書館などに寄贈したため、今後は若者を中心に小説『安曇野』を読んでもらうような取り組みを進めていく。

具体的には、若者向けに小説『安曇野』の魅力などを紹介した動画を作成し、各学校で放送していただくよう働き掛ける。一方、小説『安曇野』は、安曇野市、松本市、塩尻市などにゆかりの場所が点在しており、ゆかりの場所を巡る事業の開催に向けて広域連携を図っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある